Keio University

1858

CALAMVS GLADIO FORTIOR

Professor Manos Tsakiris 講演会

“Mind the body: from the physical self to the social life”

Manos Tsakiris 教授の来日に伴い、下記のとおり、講演会を開催いたします。

Tsakiris 先生は、現在、ロンドン大学ロイヤル・ホロウェイ校心理学部教授として Lab of Action & Body を主宰するとともに、ロンドン大学 School of Advanced Study の学際的研究拠点 Centre for the Politics of Feelings のディレクターを務められています。これまで、身体的自己意識や身体所有感、内受容感覚に関する研究を中心に、数多くの影響力の高い研究成果を発表し、この分野の第一人者として知られています。NOMIS Award の初代受賞者でもあり、同センターは、Tsakiris 先生が 2016 年から 2022 年まで代表を務めた NOMIS 支援プロジェクト “Body & Image in Arts & Science（BIAS）” に着想を得た取り組みとして展開されています。身体や感情の状態が自己認識をどのように形づくり、さらに私たちの社会的・政治的行動にどのような影響を及ぼすのかを中心に、幅広い研究を展開されています。今回の講演内容は、以下の Abstract のとおりです。なお、講演は英語で行います。

ご興味のある方は、以下より事前の参加登録の上、ご参加ください。なお、学内の方は登録不要です。
https://forms.gle/k1XBCkGp5ETv4RAu8 **（9 月 15 日締切）**

日時: 2026 年 9 月 18 日（金）17:00～18:30

場所: 慶應義塾大学 三田キャンパス 南館 地下 4F ディスタンスラーニングルーム

https://www.keio.ac.jp/ja/about/campus/mita/map/

南館は，上記ページにあるキャンパスマップ2番の建物です。

Abstract From the development of self-awareness in early life to the ways we relate to others, our mental life is scaffolded by bodily experience. Drawing on our research across psychology, neuroscience, the humanities and the social sciences, this talk explores how the experience of the body is central to our identity and social relations, and how it shapes social and political life.

主催: 慶應義塾大学文学部心理学研究室
後援: 日本学術振興会 科研費 基盤研究（A）
問い合わせ先: 慶應義塾大学文学部心理学研究室 梅田 聡 (sa.umeda@keio.jp)
〃 寺澤悠理 (terasawa@flet.keio.ac.jp)

Keio University
2-15-45 Mita, Minato-ku, Tokyo 108-8345 Japan
www.keio.ac.jp